



2026年度日本顕微鏡学会SPM研究会
テーマ：次世代SPMの展開：AI・計測高度化・極限環境

主催：公益社団法人日本顕微鏡学会 走査型プローブ顕微鏡分科会
後援：応用物理学会

開催日時：2026年12月13日(日)13：00～12月14日(月)12：00（予定）

開催場所（宿泊場所）：定山溪万世閣ホテルミリオーネ

（〒061-2302 北海道札幌市南区定山溪温泉東3丁目 <https://www.milione.jp/>）

※今年度のSPM研究会は、1泊2日の合宿形式の研究会となります。

【開催内容】

走査型プローブ顕微鏡（SPM）は、ナノスケールの構造や物性評価において重要な役割を担い、幅広い分野で発展を続けています。今年度の研究会では、人工知能やシミュレーションとの融合による計測の高度化・自律化に加え、極限環境計測などの新たなAFM技術に焦点を当てます。また、**今年度はAFM関連メーカー各社による企業展示も予定されており、最新の技術や装置を直接ご覧いただけます。**これまで中断していた合宿形式による温泉での研究会も再開し、リラックスした環境での交流もお楽しみいただけます。学生の皆様からの発表も広く募集いたします。（**優れた講演には若手優秀発表賞を授与します。**）皆様のご参加をお待ちしております。

【チュートリアル・基調講演】

阿部 真之（大阪大）

「「見て判断する」AI-SPMから「考えて計画する」自律型AI-SPMへ」

【招待講演】

森 貴治（東京理科大）

「分子動力学計算と深層学習によるタンパク質の高速AFM画像解析」

山本 大輔（福岡大）

「熱揺らぎ一定モードAFMの開発」

一井 崇（京都大）

「材料科学研究のための高粘度・不透明・高温液中AFMの開発」

【参加費用】

（お支払方法は銀行振込です。参加登録期限後に口座情報をお知らせします。）

会員学生 17,000円（参加費：6,000円，夕食費：2,000円，宿泊費：9,000円）

一般学生 21,000円（参加費：10,000円，夕食費：2,000円，宿泊費：9,000円）

会員 30,000円（参加費：19,000円，夕食費：2,000円，宿泊費：9,000円）

一般 37,000円（参加費：26,000円，夕食費：2,000円，宿泊費：9,000円）

※個人会員（顕微鏡学会、応用物理学会）の方は会員価格となります。（企業の協賛会員は対象外。）参加登録の入力フォームにて会員番号をご入力ください。

※1日目の夕食は会場にて提供いたします。2日目の朝食は宿泊費に含まれています。

※学生の方でMicroscopy（日本顕微鏡学会英文学術誌）に投稿できる方は、会員・非会員に関わらず参加費を無料に致します。

【申し込み方法】 Google form: <https://forms.office.com/r/CKkCyZ87fn>

※口頭発表申込者は、予稿（A4で1ページ・形式自由・PDF）を添付して下さい。

参加登録期限：2026年11月27日(金)17:00

幹事：牛木辰男（新潟大），内橋貴之（名古屋大），岡嶋孝治（北海道大），山田啓文（龍谷大／京都大），繁野雅次（日立ハイテク），宮澤佳甫（金沢大），井藤浩志（産総研）

問い合わせ先：k.miyazawa@staff.kanazawa-u.ac.jp（宮澤佳甫／金沢大）

【昨年度のSPM研究会の様子】
集合写真



若手優秀発表賞授与式・懇親会の様子

